

「社会健康医学」基本構想検討委員会の主旨

- 本県では、県民の健康寿命を更に延伸し、県民の日常的・継続的な健康づくりをすすめ、日本一の健康長寿“ふじのくに”を実現したいと考えている。

本検討委員会でとりまとめる基本構想では、

- ① 今までの健康長寿の取組の科学的視点による体系化
- ② 研究成果の着実な施策への反映による県民への還元
- ③ 本県が健康寿命日本一になるための体制の構築

を進める上で必要となる社会健康医学の活用など、科学的知見に基づいた施策の展開についてとりまとめる。

- 委員の皆様には、本県が県民の健康寿命の更なる延伸を図るため、今後どのような取組や研究を推進していくべきか、人材養成のあり方や、施策について、それぞれの立場から広範に御議論いただきたい。

- この「社会健康医学」基本構想検討委員会における議論を踏まえ、平成28年度末を目途に、県民の健康寿命の更なる延伸を図るための基本構想をとりまとめることとしている。「社会健康医学」基本構想検討委員会は、議論の進行を勘案しながら今年度中に4～5回程度の開催を予定しており、第1回の本日は、本県の健康寿命等に関する全般的な議論を行う。第2回目以降は、引き続き議論を深めながら、基本構想の骨子、原案、修正案、最終案と作業を進めたいと考えている。